各都道府県介護保険担当課（室）
各市町村介護保険担当課（室）
各 介 護 保 険 関 係 団 体　御 中

← 厚生労働省　老健局　高齢者支援課

介　護　保　険　最　新　情　報

今回の内容

令和７年度 介護デジタル中核人材養成に向けた

調査研究事業一式

再度「デジタル中核人材養成研修」関する

周知と受講推奨のお願い

計１３枚（本紙を除く）

Vol.１４２９

令和７年 10 月 20 日

厚生労働省　老健局　高齢者支援課

貴関係諸団体に速やかに送信いただきますよう
よろしくお願いいたします。

連絡先　TEL：03-5253-1111（内線 ３８７６）
FAX：03-3595-3670

事　務　連　絡
令和 7 年 10 月 20 日

各 都道府県介護保険担当課（室）
各 市区町村介護保険担当課（室）　御中
各 介 護 保 険 関 係 団 体

厚生労働省　老健局高齢者支援課
介護業務効率化・生産性向上推進室

厚生労働省 令和 7 年度 介護デジタル中核人材養成に向けた調査研究事業一式
再度「デジタル中核人材養成研修」関する周知と受講推奨のお願い

厚生労働行政の推進については、平素から格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

既にご承知のとおり、我が国では現役世代の人口が減少し、介護人材の確保が一層困難になる状況下にあり、介護分野の生産性向上は喫緊の課題となっております。

令和 7 年 9 月 1 日「介護情報最新情報 Vol.1416 令和 7 年度介護デジタル中核人材養成に向けた調査研究事業一式『デジタル中核人材養成研修』の周知および受講推奨のお願い」にて管内の介護事業所への連絡をお願いしておりましたが、

今般、受講定員の増枠を行い、一部回の応募〆切を延長いたしましたので、改めまして管内の介護事業所に向けた本研修の周知と受講推奨をお願いいたします。

令和 7 年 7 月 25 日付「2040 年に向けたサービス提供体制等のあり方に関するとりまとめ」においては、将来予見される介護人材不足を見据え、介護テクノロジーの活用や生産性向上に取り組む人材育成の必要性が強調されております。このような背景を踏まえ、本事業において、介護テクノロジーを活用し現場の生産性向上を推進できる中核人材を育成するべく、無料・WEB 開催の研修を提供しているものです。

本研修の受講人数につきましては、デジタル庁ホームページにおける「介護現場の生産性向上に関するダッシュボード」において都道府県別で公開されることになっておりますが、10 月 16 日時点で、一部の都道府県において著しく参加応募が少ない状況です。本事業の趣旨をご理解のうえ、管内の介護事業所や関係者に対して本事務連絡を必ず展開いただき、積極的な受講推奨をお願いいたします。

尚、自治体のご担当者の方や介護保険関係団体等の職員の方も「傍聴」という形でご参加頂けますので、ご検討ください。

◇厚生労働省ホームページのご案内はこちら

※本事業は、令和 7 年度「介護デジタル中核人材養成に向けた調査研究事業一式」を株式会社善光総合研究所に委託して実施しています。



DIGITAL TECHNOLOGY

デジタル中核人材養成研修

参加無料

現場から介護の未来を変えていく

少子高齢化と生産年齢人口の減少が進み、介護現場では人材不足や業務の複雑化が課題となっています。
いま求められているのは、限られた人員でも質の高いケアを継続的に提供できる体制を構築することです。
本研修では、介護テクノロジーを活用した業務改善を学ぶだけでなく、現場で課題を見出し、
改善策を立案・実践する力を身につけます。
「よりよい介護をしたい」という想いを、現場を動かす力へ。あなたの一歩が介護の未来をつくります。

● **研修日程**

2025年10月 ～ 2026年2月　**すべてオンライン開催。**
日程は研修セットによって異なります。裏面をご覧ください。

● **研修目的**

・介護現場における生産性向上の方策のひとつとして、介護テクノロジーを効果的に活用し、より質の高いケアの実践をめざす意義を理解する。
・介護現場の生産性向上と、組織全体がチームとなって業務改善に取り組むためのリーダーシップについて、基本的な知識とスキルを習得する。
・利用者の自立支援と個別性の高いケアを実現するため、介護テクノロジーを最大限に活用することができるアセスメント力をはじめとする、科学的介護の基本的な知識を習得する。

● **対象者** 次のすべての項目を満たしている方

① 介護サービス施設・事業所等での勤務経験が3年以上ある（介護職以外の職種や、法人本部等の勤務等を含む）。
② 勤務先（介護サービス施設・事業所等）で、業務改善や介護テクノロジーの導入・運用に関わっている、または、今後取り組みたいと考えている。

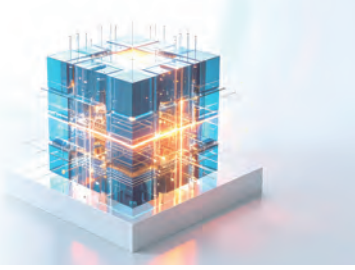


ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

主　　催：厚生労働省
事業受託者：株式会社善光総合研究所
運営・事務局：公益社団法人日本介護福祉士会

本研修の事務局は、株式会社善光総合研究所からの委託を受け公益社団法人日本介護福祉士会が運営いたします。

DIGITAL
TECHNOLOGY



研修日程

・全日程、オンライン開催となります。
・No.6、No.7は、原則として、勤務先が山形県・三重県にある方が対象です。
（受講者や施設・事業所同士が、現地での情報交換等を無理なく行う事が出来る近隣地域を含む）

【開催時間：全日程共通】

1日目　9:30～14:00
2日目、3日目　9:30～13:00

左記時間には・オリエンテーション・課題の説明・事務連絡・休憩の時間を含みます。

※一部の日程を他のセットへ振替えることはできません。

セットNo	対象エリア	申込期間	オンライン授業	詳細・お申込み
No.1	全国	受付終了	1日目　10/3（金） 2日目　11/6（木） 3日目　12/10（水）	
No.2	全国	受付終了	1日目　10/15（水） 2日目　11/17（月） 3日目　12/19（金）	
No.3	全国	受付終了	1日目　10/21（火） 2日目　11/25（火） 3日目　12/26（金）	
No.4	全国	9/2（火）～10/~~16（木）~~22（水）	1日目　10/28（火） 2日目　12/1（月） 3日目　1/9（金）	
No.5	全国	9/2（火）～10/~~21（火）~~26（日）	1日目　10/31（金） 2日目　12/4（木） 3日目　1/15（木）	
No.8	全国	9/22（月）～11/4（火）	1日目　11/14（金） 2日目　12/17（水） 3日目　1/28（水）	
No.9	全国	10/20（月）～11/15（土）	1日目　11/21（金） 2日目　12/23（火） 3日目　2/2（月）	

セットNo	対象エリア	申込期間	オンライン授業	詳細・お申込み
No.6	山形県 ※1	9/22（月）～10/25（土）	1日目　11/5（水） 2日目　12/8（月） 3日目　1/19（月）	
No.7	三重県 ※2	9/22（月）～10/29（水）	1日目　11/12（水） 2日目　12/12（金） 3日目　1/23（金）	

※1　研修の事務局は、山形県介護生産性向上総合支援センターです。
※2　研修の事務局は、みえ介護生産性向上支援センターです。

流れ

STEP 01
受講申込

研修受講のお申込み・管理は、
公益社団法人日本介護福祉士会の
研修管理システム「ケアウェル」を用います。
登録料や使用料はかかりません。
（No.6、No.7は別途お問合せください）

STEP 02
事前課題

授業 1日目の前日までに
下記の課題を終えてください。
・web動画視聴【必須】
・オンデマンド動画受講【必須】

STEP 03
集合研修（オンライン開催）

・授業 1日目
▶ 課題①自職場での業務分析（約4週間）
・授業 2日目
▶ 課題②自職場での介護テクノロジー導入計画書の作成（約4週間）
・授業 3日目

STEP 04
確認テスト

基準を満たさない場合、再受験となります。

【お問合せ】

▶ No.1～9 共通
公益社団法人 日本介護福祉士会 事務局
〒112-0004　東京都文京区後楽1-1-13
小野水道橋ビル5階
TEL：03-5615-9295（平日10:00～17:00）
Mail：seisansei@jaccw.or.jp

▶ 山形県対象No.6をお申込みの方
山形県介護生産性向上総合支援センター
〒994-0044 山形県天童市一日町4丁目2-6
TEL：023-664-2778（平日 9:00～17:00）
Mail：cip.yamagata@yykojo.org

▶ 三重県対象No.7をお申込みの方
みえ介護生産性向上支援センター
〒514-0009 三重県津市羽所町513 サンヒルズ2階
介護労働安定センター三重支部内
TEL：070-8434-0273（平日9:00～17:00）
Mail：mie.seisan24@gmail.com

主　　催：厚生労働省
事業受託者：株式会社善光総合研究所
運営・事務局：公益社団法人日本介護福祉士会

厚生労働省「介護デジタル中核人材養成に向けた調査研究事業一式」

令和 7 年度 デジタル中核人材養成研修 募集要項（25/10/17 版）

日本社会は、少子高齢化と生産年齢人口の減少が進み、介護現場では人材不足や業務の複雑化が課題となっています。限られた人員でも質の高いケアを継続的に提供するためには、介護テクノロジーの活用や業務改善を推進できる人材が欠かせません。

本研修は、現場で課題を見出し、改善策を立案・実践する力を持つ「中核人材」を育成することを目的としています。介護の質を高める倫理観やチームでの実践力、リーダーシップを身につけ、職員の働きやすい環境づくりや利用者の自立支援の実現をめざします。

「現場から介護の未来を変えていく」その一歩として、本研修への参加を心よりお待ちしております。

1. 目的

- 介護現場における生産性向上の方策のひとつとして、介護テクノロジーを効果的に活用し、より質の高いケアの実践をめざす意義を理解する。
- 介護現場の生産性向上と、組織全体がチームとなって業務改善に取り組むためのリーダーシップについて、基本的な知識とスキルを習得する。
- 利用者の自立支援と個別性の高いケアを実現するため、介護テクノロジーを最大限に活用することができるアセスメント力をはじめとする、科学的介護の基本的な知識を習得する。

2. 開催期間

2025（令和 7）年 10 月～2026（令和 8）年 2 月　※集合研修の開催期間

3. 開催方法

オンライン開催（事前課題、Zoom によるオンライン研修、チャットツールによる支援等）

4. 対象者

次の 2 つの項目をすべて満たしている方

① 介護サービス施設・事業所等での勤務経験が 3 年以上ある（介護職以外の職種や、法人本部等の勤務等を含む）。

② 勤務先（介護サービス施設・事業所等）で、業務改善や介護テクノロジーの導入・運用に関わっている、または、今後取り組みたいと考えている。

5. 到達目標

勤務先（介護サービス施設・事業所等）の介護サービスの質の向上を実現するために、業務改善と介護テクノロジー導入に着手し、プロジェクトを継続的に推進することができる。

6. 定員

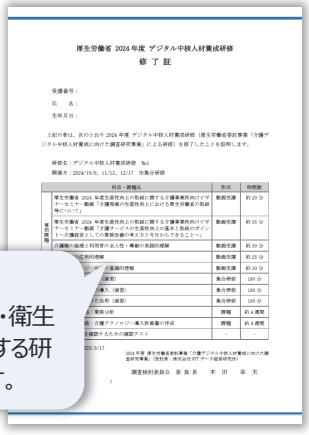
全国研修の定員を 250 名程度まで増員します

計 1,500 名（全国対象№1～5、8～9：各 200 名　地域対象№6～7：各 50 名）

※ 研修セットごとに定員に達し次第、受付を締め切ります

7. 費用

無料

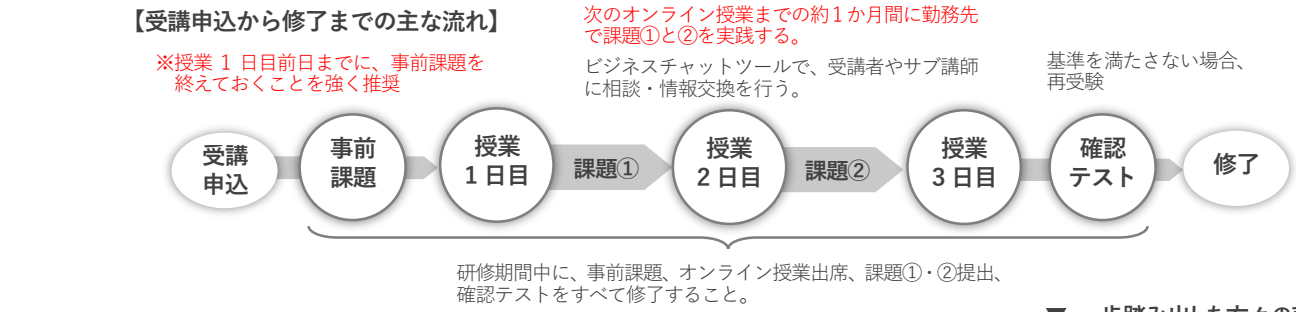

厚生労働省 2024 年度 デジタル中核人材養成研修
修 了 証

本研修を修了した方には、修了証が発行されます。
昨年度の修了者は、介護サービス情報公表制度の「安全・衛生管理等に関する報告事項：介護ロボット・ICT 活用に関する研修修了者」として、本研修の修了証をお使いになっています。

8. 研修の流れ

・ 受講を希望する集合研修（セットNo.1～9 のうち 1 セット）の受講申込を終えた後、計画的に事前課題を受講してください。オンライン授業が始まるまでに、事前課題を終えておくことを強く推奨します。

・ オンライン授業の実施、確認テスト等については、メールまたはビジネスチャットツールで連絡します。



▼ 一歩踏み出した方々の声



受講をきっかけに、経営層との一体感と、現場からの問題提起が進展。導入した業務支援ソフトやチャットツール等の活用により、職員の意識改革と業務効率化・見える化を達成しました。（R6 研修修了：鹿児島県・通所リハ・医療職）

デジタル技術の導入は、ハードルが高いと感じていましたが、取り組みのなかで、日々の業務に対し「こうすれば楽なのに」といった思いは多く存在していることがわかりました。 私たちは、「まずできることから」と PC や iPad 等すでにあるものを用いて、効率化を図りました。その結果、「このアプリも使えるのでは？」等いろいろと意見が出るようになり、成功体験から新しいツールの導入につなげることができました。（R6 研修修了：福島県・地域包括・相談職）



9. 研修プログラム

・ 事前課題、集合研修（3 日間のオンライン授業／自職場での実践）、確認テストがあります。

（1）事前課題

区分	時間等	内容
web 動画視聴 【必須】	約 20 分	❶ 厚生労働省 令和 7 年度生産性向上の取組に関する介護事業所向けビギナーセミナー「介護現場の生産性向上における厚生労働省の取組等について」
	約 40 分	❷ 厚生労働省 令和 7 年度生産性向上の取組に関する介護事業所向けビギナーセミナー「介護サービスの生産性向上の基本と取組のポイント」
	約 10 分	❸ Zoom に挑む！（本研修を受講するために必須となる Zoom 基本操作の確認）
	約 20 分	❹ 介護施設の ICT 化プロジェクト（社内ネットワークに関する基礎的な知識）
オンデマンド動画受講 【必須】	約 30 分	❶ 介護職の倫理と利用者の全人性・尊厳の実践的理解 ・介護サービスの生産性向上 ・介護テクノロジーの利活用（倫理観と介護リテラシー、安全確保と行動制限、監視と観察、アセスメントと自立支援）
	約 25 分	❷ 介護過程の応用的理解 ・介護過程の理解（アセスメント・計画立案・実行・評価） ・アセスメントの視点（自立・快適・安全） ・事例検討
	約 30 分	❸ 介護テクノロジー活用の基礎的理解 ・介護テクノロジーとは ・介護テクノロジーに関する国や自治体の支援 ・セキュリティ対応
外部プログラム受講 【推奨】	－	介護テクノロジーに関する外部の研修・資格等を活用し、介護ロボットや ICT の基本的な知識や、介護現場での導入・活用方法について、積極的に学習・情報収集を行うことを推奨する。

(2) 集合研修（オンライン授業／自職場での実践）　※ 時間割は予告なく変更する場合があります

区分	時間等	内容
オンライン授業受講 【必須】	1 日目	❶介護現場の業務改善（演習）
	9:30~11:05	・開会挨拶、オリエンテーション（研修全体の説明、Zoom 操作の確認、受講者自己紹介など） ・介護保険制度の概要と生産性向上
	11:05~11:15	休憩
	11:15~12:15	・介護現場の問題発見と解決スキル；ケーススタディ①
	12:15~13:00	休憩
	13:00~14:00	・介護現場の問題発見と解決スキル；ケーススタディ② ・自職場での実践（課題①業務分析）の説明
	2 日目	❷介護テクノロジーの導入（演習）
	9:30~10:00	・介護現場の業務改善：自職場での実践（課題①）の共有
	10:00~10:50	・介護テクノロジー活用①（介護ロボット・ICT の理解、介護テクノロジーの普及状況）
	10:50~11:00	休憩
	11:00~12:45	・介護現場の問題発見と解決スキル（リーダーシップ、心理的安全性） ・介護テクノロジー導入：導入計画書作成の説明とグループワーク① ・自職場での実践（課題②介護テクノロジー導入計画書作成）の説明
	3 日目	❸利用者支援に向けた活用（演習）
	9:30~10:45	・介護テクノロジー導入：自職場での実践（課題②）の共有
	10:45~10:55	休憩
	10:55~11:20	・介護テクノロジー活用②（介護テクノロジー導入・運用コスト抑制のポイント ・利用者支援に向けた活用①（介護テクノロジーから取得したデータ分析・活用のポイント）
	11:20~13:00	・利用者支援に向けた活用②（個別ケアの見直し） ・チームがまとまり成果を生み出す考え方と方法（介護テクノロジー導入の動機づけ） ・事務連絡（修了要件の確認）
自職場での実践 【必須】 ※ビジネスチャットツールで、サブ講師や他の受講者と相談や情報交換を行う。	1 日目終了後 約 4 週間	課題①：業務分析 ・プロジェクトチームの立ち上げ：業務改善に取りくむためのプロジェクトチームを立ち上げる。既存の委員会がある場合は、委員会の中で課題として取り上げる。 ・業務分析の取組：授業のなかで紹介した業務改善のためのツールから勤務先に合ったものを選び、チームで業務分析を行う。 ・課題の提出：研修管理システムへ期日までに提出する。
	2 日目終了後 約 4 週間	課題②：介護テクノロジー導入計画書の作成 ・導入計画書の作成：業務分析で可視化された課題を解決するために活用できる、介護テクノロジーの導入をめざし、導入計画書を作成する。 ・課題の提出：研修管理システムへ期日までに提出する。



原則、PC で受講する研修です。
タブレットでの参加はお勧めしません。
スマートフォンでの参加はできません。

(3) 確認テストと研修後のフォローアップ

区分	時間等	内容
確認テスト受験 【必須】	集合研修終了後 1 週間以内	オンラインを活用した確認テストにより、学習の達成度を確認する。
フォローアップ 【任意】	約 2 か月	自職場での実践のサポートで使用したビジネスチャットツールを使用し，受講者やサブ講師等との情報交換

本要項を十分に確認したうえで、研修の申込をしてください

10. 研修日程

- 計 9 セット（内容はすべて同じ）実施します。セットNo.1～9 から 1 つを選択し、受講申込をしてください。複数セットの申込はできません。
- 一部の日程を他のセットへ振替えることはできません。3 日間のオンライン授業と自職場での実践は、プログラム順に実施します。オンライン授業に欠席した場合、次のプログラムに進むことができません
- セットNo.1～5、8～9 は、居住地や勤務先の所在地に関係なく、申込可能です（全国共通）。

【地域研修について】

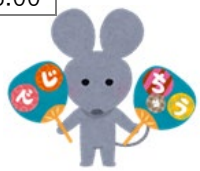
- セットNo.6（山形県）とNo.7（三重県）は、勤務先が山形県または三重県にある方が対象です（受講者や施設・事業所同士が、現地での情報交換等を無理なく行うことができる近隣地域を含む）。該当する県の施設・事業所の皆様は、ぜひNo.6、No.7 の受講をご検討ください。

No.6（山形県）：山形県介護生産性向上総合支援センター実施
No.7（三重県）：みえ介護生産性向上支援センター実施

地域研修の申込方法や開催についての詳細は、各センターHP、及び、日本介護福祉士会 HP にて、後日ご案内します！

セット	開催	受講申込開始	受講申込〆切	オンライン授業	開始		終了
No. 1	全国	9 月 2 日(火)	**受付終了**	1 日目　10 月　3 日(金)	9:30	～	14:00
				2 日目　11 月　6 日(木)	9:30	～	13:00
				3 日目　12 月 10 日(水)	9:30	～	13:00
No. 2	全国		**受付終了**	1 日目　10 月 15 日(水)	9:30	～	14:00
				2 日目　11 月 17 日(月)	9:30	～	13:00
				3 日目　12 月 19 日(金)	9:30	～	13:00
No. 3	全国		**受付終了**	1 日目　10 月 21 日(火)	9:30	～	14:00
				2 日目　11 月 25 日(火)	9:30	～	13:00
				3 日目　12 月 26 日(金)	9:30	～	13:00
No. 4	全国	≪期限延長≫	**22 日(水)** 10 月 ~~16 日(木)~~	1 日目　10 月 28 日(火)	9:30	～	14:00
				2 日目　12 月　1 日(月)	9:30	～	13:00
				3 日目　1 月　9 日(金)	9:30	～	13:00
No. 5	全国	≪期限延長≫	**26 日(日)** 10 月 ~~21 日(火)~~	1 日目　10 月 31 日(金)	9:30	～	14:00
				2 日目　12 月　4 日(木)	9:30	～	13:00
				3 日目　1 月 15 日(木)	9:30	～	13:00
No. 6	山形県	9 月 22 日(月)	10 月 25 日(土)	1 日目　11 月　5 日(水)	9:30	～	14:00
				2 日目　12 月　8 日(月)	9:30	～	13:00
				3 日目　1 月 19 日(月)	9:30	～	13:00
No. 7	三重県		10 月 29 日(水)	1 日目　11 月 12 日(水)	9:30	～	14:00
				2 日目　12 月 12 日(金)	9:30	～	13:00
				3 日目　1 月 23 日(金)	9:30	～	13:00
No. 8	全国		11 月　4 日(火)	1 日目　11 月 14 日(金)	9:30	～	14:00
				2 日目　12 月 17 日(水)	9:30	～	13:00
				3 日目　1 月 28 日(水)	9:30	～	13:00
No. 9	全国	10 月 20 日(月)	11 月 15 日(土)	1 日目　11 月 21 日(金)	9:30	～	14:00
				2 日目　12 月 23 日(火)	9:30	～	13:00
				3 日目　2 月　2 日(月)	9:30	～	13:00

※ オリエンテーション、課題の説明、事務連絡、休憩の時間を含みます。



11. 講師（集合研修）

（1）メイン講師



佐藤　拡史
社会福祉法人善光会／株式会社善光総合研究所 介護 DX 部長



礒田　明子
社会福祉法人善光会／株式会社善光総合研究所 介護 DX 部 研究員



市川　博基
社会福祉法人善光会／株式会社善光総合研究所 介護 DX 部 研究員



宇野　貴弘
社会福祉法人善光会／株式会社善光総合研究所 介護 DX 部 研究員



田村　孝司
社会福祉法人善光会／株式会社善光総合研究所 介護 DX 部 研究員



鳥丸　桃枝
社会福祉法人善光会／株式会社善光総合研究所 介護 DX 部 研究員



中矢　亜紀子
社会福祉法人善光会／株式会社善光総合研究所 介護 DX 部 研究員



星野　周也
社会福祉法人善光会／株式会社善光総合研究所 介護 DX 部 研究員



藤本　勝也
社会福祉法人善光会／株式会社善光総合研究所 介護デジタル普及促進部 研究員



山中　裕太
社会福祉法人善光会／株式会社善光総合研究所 Care Tech Lab 所長



酒井　賢一
公益社団法人日本介護福祉士会 常任理事／株式会社そよかぜ 専務取締役



舟田　伸司
公益社団法人日本介護福祉士会 常任理事／黒部市介護老人保健施設カリエール 介護係長

（2）サブ講師

- 本研修では、オンライン授業における演習や、自職場での実践をサポートするため、研修期間中、15～18 名程度のグループを担当するサブ講師を配置します。
- サブ講師は、介護サービス施設や事業所等に勤務した経験があり、介護テクノロジー導入による生産性向上の取組の実績がある方です。

令和 6 年度修了者から、サブ講師になった方も多くいらっしゃいます。
本研修を修了した後、次はサポート側になって一緒に取り組みませんか？(^^)/



12. 研修で使用するツール等

- 本研修では、介護現場で活用できる各種ツールやアプリ等の演習と、自職場での実践をとおし、介護現場の生産性向上の取組に必要となる知識とスキルを体験的に学びます。

区分	集合研修で学習する主なツール等の例
介護現場の生産性向上に関する各種ツール等	厚生労働省「介護分野における生産性向上ポータルサイト」掲載 ・課題分析シート ・進捗管理シート
アプリ・オンラインツール等 ※受講者が無料で使用できるツール	・オンライン会議システム（Zoom） ・Google アプリ（スライド、スプレッドシート、Keep） ・スマートフォンの音声入力 ・ビジネスチャットツール（Slack）

本要項を十分に確認したうえで、研修の申込をしてください

13. 申込方法

（1）全国対象№1～5、8～9 を申込の方

・ 研修受講の管理は、公益社団法人日本介護福祉士会の研修管理システム「ケアウェル」を用います。本研修において、ケアウェルで行うことは次のとおりです。

受講申込、事前課題の受講、自職場での実践課題の提出、オンライン授業の受講状況の管理、修了証の発行

・ 本研修の受講者であれば、日本介護福祉士会及び都道府県介護福祉士会の会員ではない方もケアウェルを使用できます。登録料や使用料はかかりません。

① ケアウェル ID の確認

ケアウェル ID をすでにお持ちの方

a.日本介護福祉士会及び都道府県介護福祉士会に入会済の方

b.ケアウェル（非会員）個人アカウント作成済みの方

a または b に該当する方の申込手続き

✓ ログインページ URL：https://jaccw-carewel.study.jp/rpv

✓ 日本介護福祉士会ホームページにアクセス →「会員専用サイト」クリック

✓ 登録済みの日介 ID とパスワードでケアウェルにログイン



※a または b の方で、日介 ID とパスワードを忘れた方は再登録してください。

✓ ログイン後「令和 7 年度 デジタル中核人材養成研修」から申込してください。

本要項を十分に確認したうえで、研修の申込をしてください

ケアウェル ID をお持ちでない方

a,b 以外の方は「ケアウェル（非会員）」個人アカウント作成から始めてください。

（費用不要）

～ケアウェル（非会員）個人アカウントの作成～

作成ページ URL

https://jaccw-carewel.study.jp/rpv/external/user_regist.aspx?publish_key=wF94FuLe

- 受講要件の確認等で使用する事項となります。すべての内容について正確に入力してください。
- キャリアメール（例．@docomo）や勤務先の代表メール・共有メールは、ご登録できません（使用不可）。受講者と確実に連絡がとれる受講者本人のメールアドレスをご登録ください。

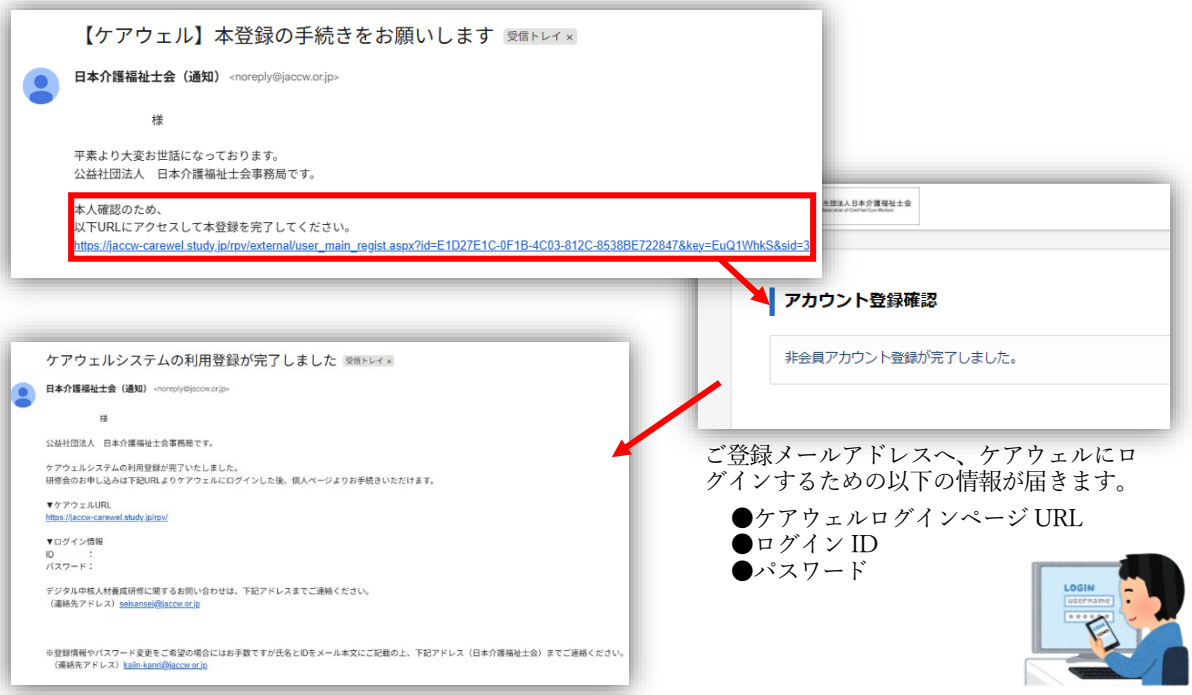
※　受講要件確認等に使用します。登録内容に誤りがないようにしてください。

※　キャリアメールや勤務先の代表メール・共有メールを登録しないでください。



この段階では、まだケアウェルに反映されていません。

✓　ケアウェルメールを受信　→指定された URL をクリックして本登録完了



ご登録メールアドレスへ、ケアウェルにログインするための以下の情報が届きます。

●ケアウェルログインページ URL
●ログイン ID
●パスワード

本要項を十分に確認したうえで、研修の申込をしてください

② 受講を希望する研修セットNo.に申込

- ケアウェルにログインした後、画面に表示されている「デジタル中核人材養成研修」全国を対象としたNo.１～5、No.8～9 のうち、希望するセットNo.のアイコンをクリックし、手続きを進めてください。
- 受講しないセットNo.をクリックし申込が重複した場合、希望している研修を受講できない可能性があります。セットNo.を間違えてクリックしないように気をつけてください。



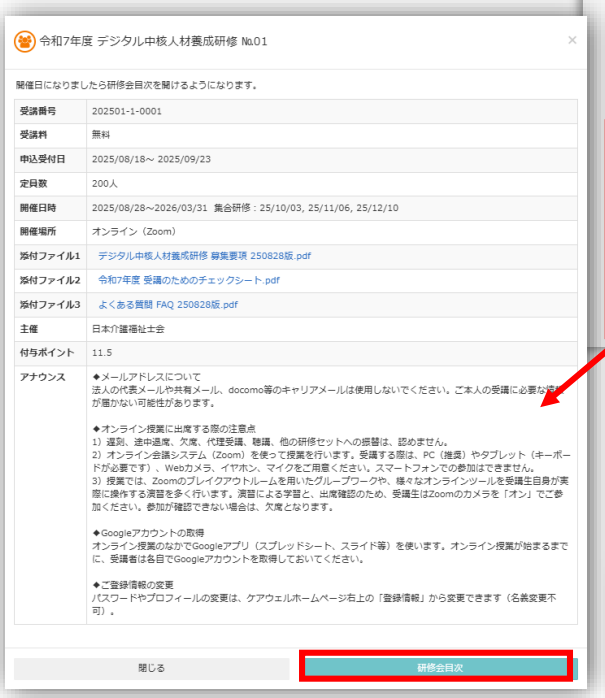
希望セットNo.を選択



「進む」を選択



本要項を十分に確認したうえで、研修の申込をしてください



「研修会目次」を選択で学習コンテンツの確認ができます
※申し込み後、「進む」→「研修会目次」に表示が変更されます



申し込み後、研修一覧の画面に戻ります。
再度申込をしたNo.を選択してください。



「マイページ」・「納入管理」から申込をした研修の確認ができます



例：マイページクリック後、申込みをした研修の確認ができます。

（2）山形県対象のNo.6 を申込の方

・ 山形県介護生産性向上総合支援センターへお問合せください。
〒994-0044　山形県天童市一日町 4 丁目 2-6
E-mail：cip.yamagata@yykojo.org　　TEL：023-664-2778（平日 9:00～17:00）

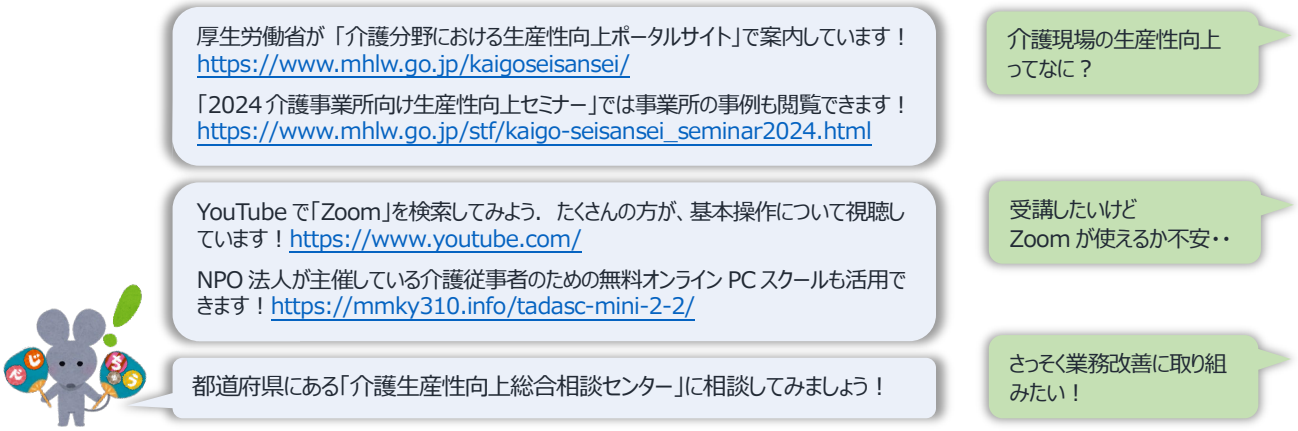
（3）三重県対象のNo.7 を申込の方

・ みえ介護生産性向上支援センターへお問合せください。
〒514-0009　三重県津市羽所町 513　サンヒルズ 2 階　介護労働安定センター三重支部内
E-mail：mie.seisan24@gmail.com　　TEL：070-8434-0273（平日 9:00～17:00）

受講申込の方法や注意事項等は、日本介護福祉士会ホームページでもご案内しています。
公益社団法人日本介護福祉士会　https://www.jaccw.or.jp/news/20250815

14. オンライン授業（Zoom）に出席する際の注意点

- 遅刻、途中退席、欠席、代理受講、聴講、他の研修セットへの振替は、認めません。お申込みの際は、3 日間すべて受講できることをご確認ください。
- オンライン会議システム（Zoom）を使って授業を行います。原則として、PC でご参加ください。Web カメラ、イヤホン、マイクをご用意ください。
- やむを得ない場合はタブレット（キーボード必要）でも参加できますが、Google アプリ等の操作ができない場合が多く、効果的な受講ができません。スマートフォンでの参加はできません。
- グループワークやオンラインツールを実際に操作する演習を多く行います。演習による学習と、出席確認のため、受講者はカメラを「オン」でご参加ください。参加が確認できない場合は、欠席となります。
- 複数名で受講する場合、同じ室内からの参加を控える、イヤホン等を利用し音を漏らさないようにする等のご配慮をお願いいたします（ハウリングが発生すると、グループワークの進行に支障が出ます）。
- 同じ勤務先から同一日に複数名で参加すると、通信速度の低下や通信ができなくなる等の制限が発生する場合があります。受講者がオンライン授業にしっかり参加できるように、参加当日の受講環境については、あらかじめ勤務先とご確認ご相談をお願いいたします。



15. その他

- 他の受講者への妨げとなる行為が認められた場合、その他、事務局が「研修運営に支障がある」と判断した際は、受講不可とする場合があります。
- 本研修の受講者には、本事業及び厚生労働省が行う生産性向上の取組に関連した調査（アンケート調査、インタビュー調査等）を行う場合があります。ご協力をお願いいたします。
- 本研修の受講の様子はすべて録画し、その動画や画像などを本事業及び厚生労働省の取組に使用いたします。受講者や傍聴者による録画・録音・撮影等の行為は、一切認めておりません。
- 本研修については、日本介護福祉士会ホームページでもご案内しています。窓口へお問い合わせいただく際は、事前にホームページ掲載の「よくあるご質問（FAQ）」を必ずご参照ください。

【研修事務局】※研修についてのお問い合わせ（№1～9 共通）
公益社団法人日本介護福祉士会 事務局　担当：猪股（いのまた）・谷本（たにもと）
E-mail：seisansei@jaccw.or.jp　TEL：03-5615-9295（平日 10:00～17:00）

【事業事務局】※本事業についてのお問い合わせ
株式会社善光総合研究所　介護 DX 部　担当：中矢（なかや）・田村（たむら）
E-mail：d-jinzai@zenkou-lab.co.jp

※ 個人情報の利用目的：本事業でご登録いただいた情報は、厚生労働省の個人情報保護方針（https://www.mhlw.go.jp/kojinjouhouhogo/index.html）、株式会社善光総合研究所の個人情報保護方針（https://zenkou-lab.co.jp/privacypolicy/）、公益社団法人日本介護福祉士会の個人情報保護方針（https://www.jaccw.or.jp/privacypolicy）に従い取扱います。個人情報は、本事業における研修受講者登録、アンケート調査結果の収集・分析・報告、関連事業のご案内のために利用いたします。

※ 事業：介護デジタル中核人材養成に向けた調査研究事業一式（受託 株式会社善光総合研究所／再委託 公益社団法人日本介護福祉士会）